

みやぎNN復興だより

第26号 H30.9.28発行

全国の皆様からの暖かいご支援に心より感謝いたします。

実りの秋を迎えました

9月に入り、県内各地で水稻の収穫が本格的にはじまりました。

復旧・復興工事は最善を尽くしていますが、一部の農地で作土に石礫やがれきの混入、風雨による作土の流出、耕盤が破壊されるなどの問題が生じています。農家の方々はこのような中、営農努力を重ねて今秋の収穫を迎えました。

農地の条件は換地にも大きな影響を及ぼすため、営農努力だけでは補えない部分は対策工事（石礫や雑物の除去、客土工、土壌改良工）を行うなど、完了に向けて引き続き工事を実施します。



亘理町吉田東部1期・2期地区（H30年9月撮影）



岩沼市岩沼西部地区（H30年9月撮影）

発展期 1 年目 ～新たな営農の取り組み～

平成30年度は「宮城県震災復興計画」で定める発展期の1年目です。被災地では復旧にとどまらない先進的な地域づくりに取り組んでいます。復興交付金を活用した農地整備を契機にこれまでの水稻に加え、新たな作物を栽培しています。

山元町山元東部地区 芝生を生産しています

山元東部地区では、震災後に地元農家、企業が連携して東日本復興芝生生産事業（株）を設立し、芝生を生産しています。平成26年から出荷がはじまり、生産された芝生は、宮城県利府町のひとめぼれスタジアム宮城（宮城スタジアム）や愛知県豊田市の豊田スタジアムなどで使われています。



写真左：山元町山元東部地区の芝生生産の様子
（H30年9月撮影）

写真右：石巻市河北地区（大川）のオリーブ栽培の様子（H30年8月撮影）

石巻市河北地区（大川） オリーブを栽培しています

石巻市では、北上地区（十三浜）、河北地区（大川）、雄勝地区（味噌作）、牡鹿地区（網地島）などの市内各地でオリーブの実証栽培に取り組んでいます。今後は生産のみならず、加工・商品開発を進め、北限のオリーブとして売り出す予定です。



復興インタビュー ～V o l . 1 ～

今年8月、震災を契機に新たな営農に取り組んでいる農業経営者の方々にインタビューを行いました。一部ですが、その様子をお伝えします。

今回ご紹介するのは、農事組合法人仙台イーストカントリー（仙台市若林区）です。インタビューにお答えいただいたのは、代表理事で生産部門を統括する佐々木均さんと、味噌加工とおにぎり茶屋ちかちゃんの経営を担う佐々木千賀子さんです。

<農事組合法人仙台イーストカントリーのご紹介>

国営仙台東土地改良事業仙台東地区において、水稲・大豆・飼料用米を生産するほか、味噌などの加工を行っています。震災後に「おにぎり茶屋ちかちゃん」を開店し、米の直売、おにぎりや餅など加工品の販売、レストランを運営しています。

詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください。

URL : <http://www.sendai-east.jp/company.html>

Q1. 被災直後の状況は？

(佐々木均さん) 辺りはがれきの山。友人、知人も亡くなった。津波で機械も流された。

Q2. どのような想いで農業を再開しましたか？

(佐々木均さん) 仙台東地区1,800haの農地が復旧しても耕作する人がいないのではダメ、法人があきらめてはダメだと思った。

(佐々木千賀子さん) 土地を守るのは自分たち。前を向いて進むしかないと思った。

Q3. 復旧した農地を見て心境の変化はありましたか？

(佐々木均さん) おかげさまで作業効率が良くなった。パイプラインで水管理が楽になり、農地の集積・集約も進んだ。



大豆栽培の様子 (H30年8月撮影)



水稲作の様子 (H30年8月撮影)

Q4. 震災後に新たにレストラン兼直売所を開業していますが、開業して良かった点は何ですか。

(佐々木千賀子さん) 女性達の働く場所ができたこと。働くことでみんな張り合いが出た。

Q5. 農事組合法人仙台イーストカントリーは地域の中でどのような役割を果たしていますか。

(佐々木均さん) 6次化（レストランや加工など）に取り組んで、地域のためにお金が回るのはいいと思う。大きくなってもいいので続けていきたい。

Q6. 今後続けていきたいことは何ですか？

(佐々木千賀子さん) 欲張らずに、このまま（レストランや加工を）続けていきたい。

(佐々木均さん) 土地利用型の農業を続けていきたい。野菜栽培や加工なども取り入れて、新しいことを楽しみながらやっていきたい。

2018みやぎの復旧復興セミナーを開催します

平成30年10月15日（月）に仙台市青葉区のパレス宮城野にて「2018みやぎの農業農村復旧復興セミナー～東日本大震災の再生から創造的復興へ～」を開催します。セミナーでは、荒川前農林水産省農村振興局長の基調講演をはじめ、仙台、石巻及び気仙沼地域の復旧・復興の状況をお伝えします。

岩手県・宮城県・福島県 農業農村復旧復興パネル展を開催します

農林水産省「消費者の部屋」特別展示

岩手県・宮城県・福島県 農業農村復旧復興パネル展

【展示期間】
平成30年11月5日(月)～11月9日(金)
10:00～17:00
(ただし、5日は12時から、9日は13時まで。)

【展示場所】
農林水産省「消費者の部屋」
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
東京メトロ丸の内線、日比谷線、千代田線の霞が関駅下車。
A5、B3aの出口すぐ。




皆様のご支援に感謝します

東日本大震災の発生から7年、岩手県、宮城県、福島県は、この震災により甚大な被害を受けましたが、全国の皆様のご支援をいただき、復旧・復興を進めています。今回の展示では、復旧から復興へと歩みはじめた農業農村の様子をご紹介します。

-24-
農林水産省

平成30年11月5日（月）から9日（金）まで東京都千代田区の農林水産省「消費者の部屋」にて岩手県、福島県と共催で「岩手県・宮城県・福島県農業農村復旧復興パネル展」を開催します。復旧から復興へと歩みはじめた3県の農業農村の様子をパネル展示するほか、来場者アンケートに回答いただいた皆さまに復興米をプレゼントします。是非ご来場ください。



今後とも応援をよろしくお願いします。

宮城県農業農村整備関係部署一覧

県庁農林水産部

農村振興課	022-211-2861
指導班，企画調整班，地域計画班， 技術管理班，広域水利調整班， 農村交流対策班	
農村整備課	022-211-2871
事業経理班，換地・用地班，ほ場整備班， 農村環境整備班，防災対策班， 水利施設保全班	
農地復興推進室	022-211-2703
農地復興推進班	

県出先機関

大河原地方振興事務所	農業農村整備部	0224-53-3111
仙台地方振興事務所	農業農村整備部	022-275-9111
北部地方振興事務所	農業農村整備部	0229-91-0701
北部地方振興事務所	栗原地域事務所	農業農村整備部 0228-22-2111
	栗駒ダム管理事務所	0228-45-1306
東部地方振興事務所	登米地域事務所	農業農村整備部 0220-22-6111
東部地方振興事務所	農業農村整備部	0225-95-1411
気仙沼地方振興事務所	農業農村整備部	0226-24-2121
王城寺原補償工事事務所		022-345-5175

問い合わせ先：

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号

宮城県農林水産部農村振興課 電話：022-211-2861

E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp